

本報告書について

全学期の講義がおわり、クリスマスとニューイヤーの雰囲気が濃くなってきました。本報告書では講義の期末試験に向けての学校の様子、冬休みの大学周辺の様子を報告したいと思います。

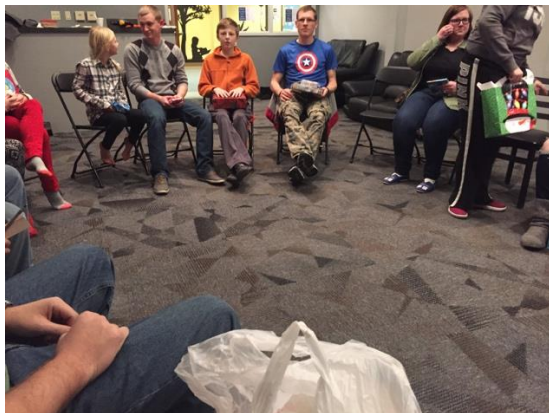


図1 教会でのプレゼント交換



図2 教会内で遊ぶ子供達

期末試験に向けての学校の様子

期末試験に向かうにつれて、学校の雰囲気が変わりました。ほとんどの学生が図書館で勉強を行い、普段 Japanese Conversation Table にも来る学生も、最後の2週間は参加せず図書館での勉強を行っていました。

パソコンルームなどでは空きの席がないほど学生が集まっており、周りの学生とともに共同で学習する姿が見られました。私の場合は期末試験とともにチームでのファイナルプロジェクトがあったため、私も同じチームのメンバーも勉強時間の割り当て方を考える必要がありました。また、勉強の疲れからか、いたるところで居眠りをしている学生も見られました。

期末試験自体はすべて3時間という長さで、試験内容も授業の範疇を超え、確実な理解を求められるものでした。やはり英語力の問題もあり、難しいものでしたが、事前に勉強したことを生かしてできる限り解けたと感じます。

中国語の期末試験では、授業ではPinyinを使って学習を進めていたのですが、テストはほとんどが漢字を用いたものになってました。日本人の私からすると大した難易度の工場ではなかったのですが、現地の学生には相当大変なものだったようで、前日はかなりの時間を漢字の学習に充てたとのことでした。

現地の学生は勉強の仕方や、その勉強が必ず結果に繋がるということを理解して勉強しているように感じました。



図3 クリスマス前の学内のアイススケート場



図4 友人の家でのエクアドル料理を

冬休みの様子について

冬休みには、学部生の寮は冬休みには閉まってしまうため、ほとんどの学生が旅行や実家への帰省などでいなくなります。普段は賑やかな大学周辺も比べて閑散としており、普段いかに多くの学生が大学内で生活しているのかを実感します。特にクリスマスには、シカゴやニューヨークへ行く学生がいるようです。私はクリスマス前には、友人に教会に招かれプレゼント交換やパーティをしました。

日本では普段感じられない宗教観をよく聞くことができ、とても良い経験になったと思います。教会を管理しているご夫婦とのお子さんや、教会によく訪れる方々はまるで家族のようでした。

クリスマスでは、エクアドル人の友人の家で、いろいろな国の料理をご馳走になりました。私自身も和風パスタを作って喜んでいただけました。

日本ではあまり考えられないこととして、ほとんどの店がクリスマス期間中休業になりました。また、近所にあるマクドナルドなどのファーストフード店はクリスマス前から、年明けの7日まで休みということもあり、驚かされました。寮内のフロントデスクも閉まってしまうことが多くなり、荷物の受け取りなども大変になりました。

年末は台湾人の友人にお世話になりました。ニューイヤーをカウントダウンで祝ったり、来年の抱負を語りました。

年明け後は、3日に旅行から帰ってくる友人とショートトリップに出かけるという予定です。



図5 いろいろな国の料理



図6 学内のクリスマスツリー

以上で12月分の報告とさせていただきます。